

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和03年01月26日(火)

事務事業		環境保全総合事務		担当課	環境衛生課	担当係	環境衛生係	管理番号	3905	
第2次総合計画				事業区分	■ 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	→ 対象拡大 サービス拡充	有 <input type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	
	行計	大項目	200004	安心とやすらぎを感じられるまち（暮らし・環境）	根拠法令 個別計画 等	深谷市蜂の巣駆除用防護服貸出要綱（平成23年度から）				
	政画	中項目	200003	人と自然にやさしいまちづくり						
分施	小項目	200002	環境衛生の推進							
野策										
別名										
事業概要		本事業は、市内（市民が居住する住宅やその敷地）に営巣された人に危害を及ぼす恐れのあるスズメバチの巣を、市の登録駆除業者に委託して駆除された方へ補助金を交付するものである。また、自ら巣の駆除を希望される方へは、防護服の貸し出しを行うものである。								
目的 ※何のために		ハチ（主にスズメバチ）による被害を未然に防ぐ。								
対象 ※誰・何を対象に		市民及び市内に住所を有する団体								
手段 ※どのように		スズメバチの巣を市の登録駆除業者に委託して駆除した方へ補助金を交付する。（平成30年度から開始） ハチの巣駆除用防護服を無料で貸出す、又は駆除業者を紹介する。								
成果 ※何を求めるか		市民等の安全かつ快適な生活づくりの一助となる。								
執行体制		■ 市職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO 民間団体 <input type="checkbox"/> その他（                      ）								
事務事業を構成する 予算事業		会計区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額（円）		
		一般会計	04	衛生費	01	保健衛生費	03	生活環境衛生費	衛生害虫駆除事業	558,950
			00		00		00			0
			00		00		00			0
			00		00		00			0
			00		00		00			0
本事業の 主な業務		・ スズメバチ駆除費補助金の交付							・	
		・ スズメバチ等の巣駆除業者の紹介							・	
		・ スズメバチ等の巣駆除用防護服の貸出し							・	
		・							・	
		・							・	
		・							・	

2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区 分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	
年度別計画			スズメバチ駆除費補助金の交付				
事業費	予算（現額）	145,000	1,643,000	893,000	746,000	751,000	
	決算額	115,350	402,781	558,950	0	0	
	国支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	他特定財源	0	0	0	0	0	
人件費	一般財源	115,350	402,781	558,950	746,000	751,000	
	従事職員数(人)	0.24	0.50	0.50	0.50	0.50	
	人件費相当試算 ※1	1,866,960	3,891,000	3,930,500	4,074,000	4,074,000	
		0	0	0	0	0	
(総事業費試算)		1,982,310	4,293,781	4,489,450	4,820,000	4,825,000	

※1 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

3. 評価指標

グラフ表示	区分	指標名	目標値 実績値	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標なし	
		年度別目標値の設定根拠										
		実績値の出所・算出式										
	活動指標 1	ハチ駆除用防護服貸出件数	目標値 実績値	件		49.00	49.00	44.00	0.00	0.00		0.00
		年度別目標値の設定根拠		貸出件数は予測できないため、目標値の設定はできない。								
		防護服貸出簿										
	成果指標 1	スズメバチ駆除費補助金の交付件数	目標値 実績値	件		0.00	64.00	96.00	0.00	0.00		0.00
		年度別目標値の設定根拠		当該事業は、平成30年度より開始し、実績がないため、目標値の設定はできない。								
		当該年度交付件数										
			目標値 実績値		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00		0.00 0.00
年度別目標値の設定根拠												
		目標値 実績値		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00		
	年度別目標値の設定根拠											
		目標値 実績値		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00		
	年度別目標値の設定根拠											
		目標値 実績値		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00		
	年度別目標値の設定根拠											

4. 観点別評価 (A: 目標値どおり (以上) B: ほぼ目標値どおり C: 目標未達成 - : 目標値の設定がないもの)

活動 (意図した活動を行っているか)	-	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明
		蜂に関する相談が市民等から年間356件あったが、その内、44件の相談に対して防護服の貸し出しを行いすべての申請に対して対応できた。
成果 (意図した成果が上がっているか)	-	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明
		スズメバチ駆除費補助金交付制度を活用した件数は96件あり、前年の64件から比較すると大幅に増加した。
効率性 (効率的に事務を行っているか)		目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明

評価者	係長 木村 明人
-----	----------

5. 前年度改善改革プラン達成状況

前年度 改善・改革案	平成29年度、30年度ともに相談件数が300件を超えていること、駆除用防護服の貸し出し件数は49件/年と変わらないことから、スズメバチ対策のニーズはあると考えられるが、平成30年度から開始した駆除費補助金制度の申請件数が想定よりも少なかったことから、更なる制度の周知を図ることにより、制度の定着を図る。
達成状況 及び その効果	防護服の貸出件数は減少したが、補助金の交付件数が増加したことは、市民周知に対する一定の効果があったと考えられる。

# 事務事業評価表

## 6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	環境保全総合事務	担当課	環境衛生課	担当係	環境衛生係	管理番号	3905
<div>■ ① 現状のまま継続 □ ② 見直して継続 □ ③ 拡充・重点化（コスト投入） □ ④ 目的達成による終了 □ ⑤ 廃止を検討</div>			<div>□ 委託化等の検討 □ 成果向上のための改善 □ 効率化のための改善 □ 事業規模の縮小 □ 他の事務事業と統合</div>				
			評価の内容説明 平成30年度からスズメバチの巣を駆除した方へ補助制度を開始した。初年度は64件の交付だったが、平成31年度は96件と32件増加したので、市民周知は定着した感はあるが、スズメバチ駆除に関する相談件数は増加傾向にあるため、駆除に関する市民ニーズは年々増加している。				
上記を実施するための具体的な取り組み内容は？			評価者	課長 富田 勝			

## 7. 改善改革プランと今後の課題

改善・改革案	特になし
--------	------

## 8. 今後の課題（年度別計画等により実施する取り組み等）

今後の課題	特になし
-------	------

## 9. 評価指標グラフ

